

石中だより



花巻市立石鳥谷中学校

校報NO22

令和5年11月14日発行

文責 校長 千葉龍太郎

4年ぶりに開催～中文連ステージ部門～

石中2年生が圧巻のステージ！～Ishichu Pride2023～



11月13日（月）花巻市中学校文化連盟主催の総合文化祭ステージ部門が花巻市文化会館で4年ぶりに開催されました。展示部門についてはコロナ禍でも毎年開催していましたが、市内の中学2年生が一堂に会するステージ部門については、3年間中止となっていました。久々の復活ということで、担当の先生方も苦労したと思いますが、各中学校から選抜された生徒実行委員の皆さんの活躍もあり、盛会となりました。

本校からは2年生全員が参加し、合唱「つむぐ思い」を披露しました。各パートの声がよく聞こえ、音量があり、迫力がありました。ハーモニーも自然で、石中祭よりまたレベルアップした合唱でした、観賞態度も立派で、成長した2年生の姿を見ることができました。



生徒実行委員として本校からは2年生の高橋佑奈さんと高野伽菜さんが参加。佑奈さんは開祭式の開会の言葉を、伽菜さんはステージ係を主に担当していました。花巻中の伊藤和紀さんを中心とする生徒の実行委員会の活躍は素晴らしく、協力して素晴らしいステージを創りあげていました。本年度の地区の総合文化祭を生徒の実行委員会で実施しているのは県内で花巻地区のみのようなので（県の総合文化祭は生徒の実行委員が進行します。）、その立派さがわかります。来年の花巻市の最上級生となる中学生全員が集まりお互いの発表を観賞し、認め合った素晴らしい時間となりました。

【海外派遣に参加して】 花巻市の海外派遣事業に参加した2年1組の佐々木和奏さんの体験記を紹介します。

私は10月26日から11月4日までの10日間、旧石鳥谷町と姉妹都市であった（合併後は友好都市）アメリカ合衆国バーモント州ラットランド市に行ってきました。特に印象に残っているのはラットランドの高校です。私より1歳から2歳年上の生徒が通っています。日本より校則が少なく、髪の色や制服は自由、授業も飲食をしながら受けてもよいなど、日本では考えられないようなスタイルで学んでいました。また、ひとつの高校に普通高校、実業高校、専門学校が一緒になっていました。申請をすると、無料で大学の単位が取れ、就職等に有利になる等のシステムに驚きました。他には、ハロウィンパーティーに参加することができ、たくさんのお菓子をたくさんもらうことができました。日本とはスケールが違って驚きました。初めての海外で不安なこともありましたが、多くの人に支えてもらいながら10日間楽しく過ごすことができました。この経験をきっかけに自分と異なる文化や体験を更に理解していこうと思いました。



【いわて希望塾に参加して】 岩手県主催のいわて希望塾に参加した2年3組の菊池有人さんの体験記を紹介します。

私は11月4日、陸前高田市の岩手県立野外活動センターで行われた「いわて希望塾」に参加してきました。県内各地52校から55人の中学生と10人の青年サポーターの方々が集まりました。研修では県の達増知事や地元の町づくりに携わっている理事の方、盛岡大学短期大学部の教授の方などの講演を聴き、岩手のこれからの地域づくりについて話し合いました。達増知事から直々に岩手県の魅力をPRして頂き、改めて岩手が好きになりました。津波で失ったものをただ取り返すのではなく、より良い町づくりにつなげることが大切だと教えて頂きました。地元の町づくりの理事からは、人生は一期一会であることや、そのひとつの出会いを大切にすることなどを講演して頂きました。話し合いの時間では一日の反省をグループで行い、考えをまとめる力、他人の意見から考えを広げる力などを伸ばすことができました。とても有意義な時間を過ごすことができ、今回の経験をこれからの活かしたいと思いました。皆さんも地元を注目し、より良い石鳥谷にしていきたいと思います。

【校長室より】11月8日（水）に開催された授業参観・進路事務説明会（3年）への多数の参加ありがとうございました。

1年生は各授業、2年生は学活（新しい入試制度の説明）という内容でしたので、保護者の方々の関心も高かったようで、この時期の授業参観としては参加数が多かったです。進路事務説明会には、私立高校で併願の多い専大北上と花巻東の進路担当の教員にも来て頂き、丁寧な説明をして頂きました。各学年、落ち着いて授業をしている様子を見て頂くことができたのではないかと思います。3年生はいよいよ、進路希望を決定し、志望校合格に向かって学習する時期となりました。自分の将来と真剣に向き合い、先生方や保護者の意見を参考にし、自分の意志で進路希望を決めてほしいと思います。

